

Information★学校紹介

クラブ・サークル | 吹奏楽団



第49回定期演奏会▼

私たち吹奏楽団は、7月のサマーコンサート、夏のコンクール、3月の定期演奏会を主な行事として、クラシックやポップスなど様々なジャンルの曲に取り組んでいます。今年は定期演奏会も第50回という節目を迎えることとなりました。団員は、日々、音楽に真剣に向き合っています。また、年に何回も行われるコンパでもとことん飲みます!いつでも真剣!常に向上心を持ち、「お客様の心に迫る演奏」を目指してこれからも頑張っていこうと思います。

第50回定期演奏会

- 名古屋公演 ▶ 平成18年3月3日(金) / 於:名古屋市民会館中ホール
- 津 公 演 ▶ 平成18年3月5日(日) / 於:三重県文化会館大ホール

代表 日下 瑤子
(三重大学教育学部 音楽科)

【URL】<http://ravel.edu.mie-u.ac.jp/~musb/>

Information★スポット

三重県総合文化センター

三重大学のキャンパスは海辺にありますが、国道23号を挟んで山側に向かうと三重県総合文化センターという施設があります。三重大生のほとんどはこの施設を「ケンブン」と呼んでいます。

この施設には立派なコンサートホールがあったり、大学図書館にも劣らない図書館があったりしますが、それだけではありません。学生や地元の方達がイベントやサークル活動を行うために利用することができます。三重大学の学生や教員らによるグループが講演会やイベントを開催していて県民の皆様にも好評をいただいています。

三重大生は大学の施設を有効に利用することはもちろん、地域の施設を活用することによって、元気な“三重”を作っていきます!

浅野 勇貴(三重大学人文学部 社会科学科) 【URL】http://photos.yahoo.co.jp/oua_broadcasting



今では漁港として利用されている新堀▶

津の港から見た岩田川河口▼



歴史街道シリーズ

津の港

三重大学の所在する津は、かつて安濃津と呼ばれていました。「津」の文字は、ここが伊勢湾の有力な港だったことを意味しています。
安濃津は明応の地震(四九八)で陥没する大被害を受けましたが、やがてよみがえり、城下町津に変貌します。城下町の港は岩田川を利用するもので、幕末には河口近くが開削され、新堀の港がつくられました。
中部国際空港への高速船が発着する現代の港「津なぎさまち」は、この新堀の目と鼻の先に位置しています。遙かな世界に通じる港、新しい時代の波が寄せられる港は、大学と似通った性格があるようにも思われます。

三重大学創造開発研究センター 助教授
菅原 洋一



三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンの創刊を企画しています。各種行事、教育研究活動上のトピックスなど“三重大”に関する情報を広く学外に紹介していきます。多くの方々からのご意見・ご提言もいただき、地域とともに発展していく大学を目指していきたいと考えています。皆様のご登録を心からお待ちしております。

★★★★★登録方法★★★★★

メールのタイトルに『メールマガジン希望』と記入の上、皆様がお持ちのメールアドレスを下記アドレスまで発信してください。

koho@ab.mie-u.ac.jp
(三重大学広報室)

本誌お問い合わせ先
三重大学総務部総務課広報室広報係
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789
FAX 059-231-9000
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp
*ご意見をお寄せください。

三重大 X[えっくす] vol.4

平成17年12月1日発行

- 発行 / 三重大学広報委員会
- 編集 / 三重大学広報誌編集委員会
〈委員長〉 亀岡孝治・〈人文学部〉 小川真里子・〈教育学部〉 岡田博明
〈医学部〉 吉田利通・〈工学部〉 塩見 繁・〈生物資源学部〉 吉岡 基
〈三重大学総務部総務課広報室〉 船木将身・中西一美・高倉美佐子・井上真理子
- 印刷 / 有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp

©禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。